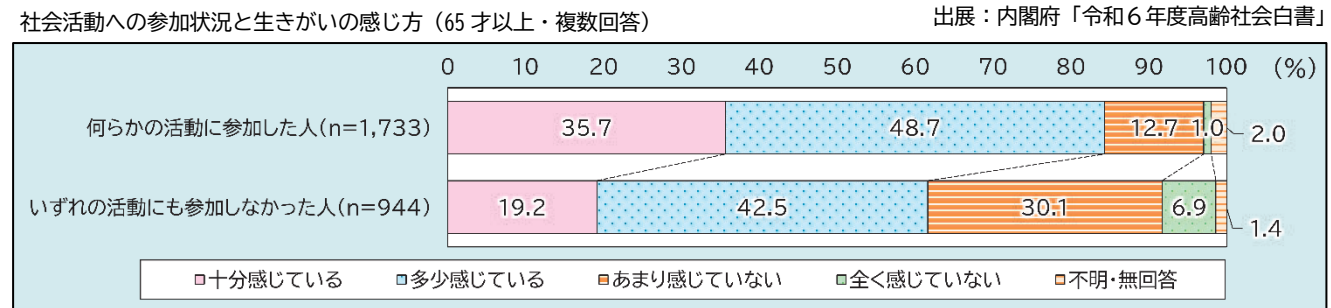


## いきがい創出

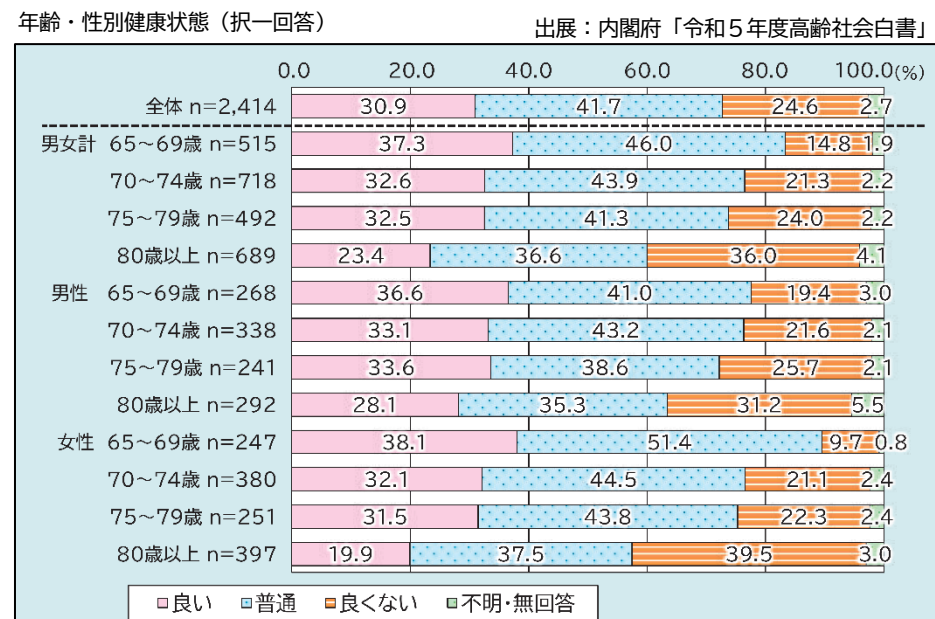
○ 社会活動へ参加している人の方がいきがいを感じている



社会活動の参加者がいきがいを感じている割合が84.4%で不参加者が61.7%と22.7ポイント上回っている。

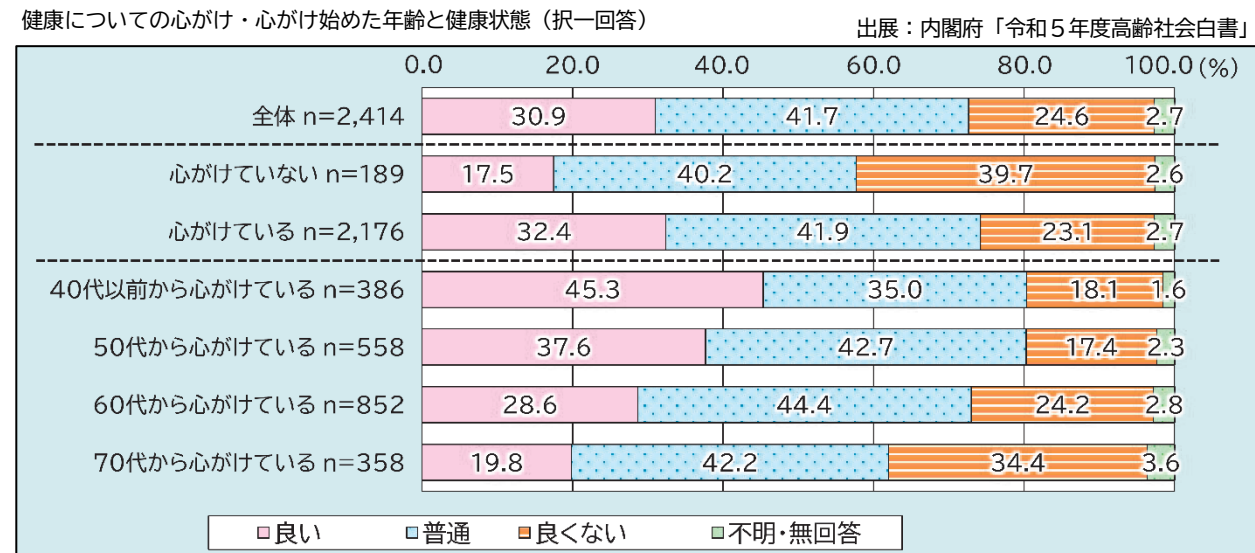
## 健康づくり

○ 年齢が高くなるほど健康状態は良くない



年齢が高くなるほど、健康状態は「良くない」と回答した人の割合が高くなっており、80歳以上では男性で30%を超え、女性で約40%となっている。

○ 若いときから健康に心がけている人は健康状態が良い

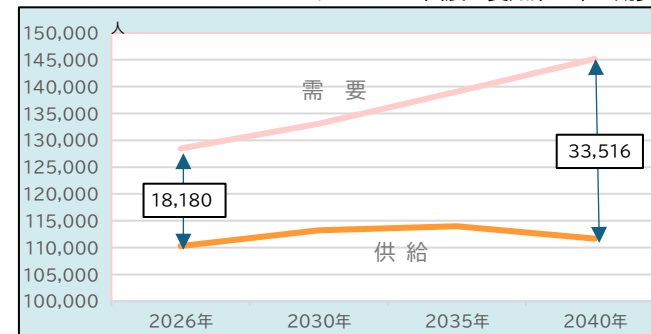


若いときから健康に心がけ始めたと回答した人は、健康状態が「良い」と回答した割合が高くなっている。

## 介護の環境

○ 介護人材の需要と供給の格差拡大が懸念される

介護人材の需要と供給の推計（愛知県） 出展：愛知県「第9期愛知県高齢者福祉保健医療計画」



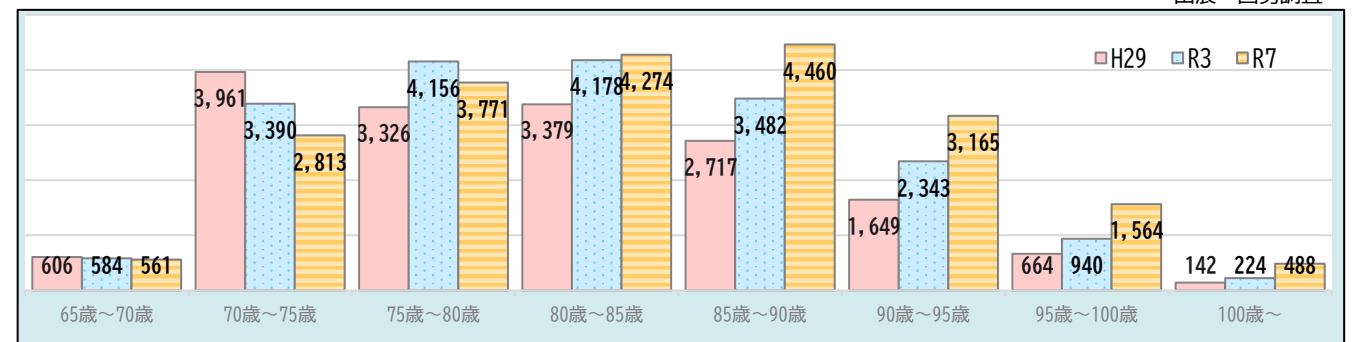
介護サービスの利用見込み量の増加を背景に、介護人材の需要は大幅に増加する一方で、供給は横ばいとなる見込みから、介護人材の需要と供給の差は2026年と比べ2040年は約2倍に拡大する。

## 孤独孤立対策

○ 85歳以上のひとり暮らし高齢者は増加傾向

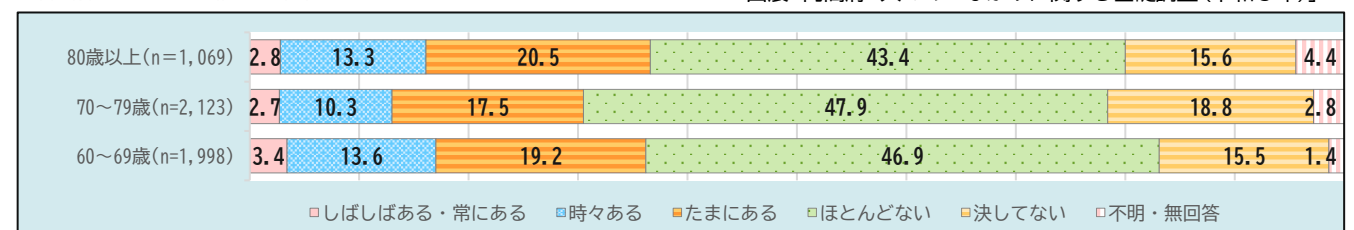
ひとり暮らし高齢者数の推移（H29→R3→R7年度）

出展：国勢調査



年齢階級別孤独感（直接質問）

出展：内閣府「人々のつながりに関する基礎調査（令和5年）」



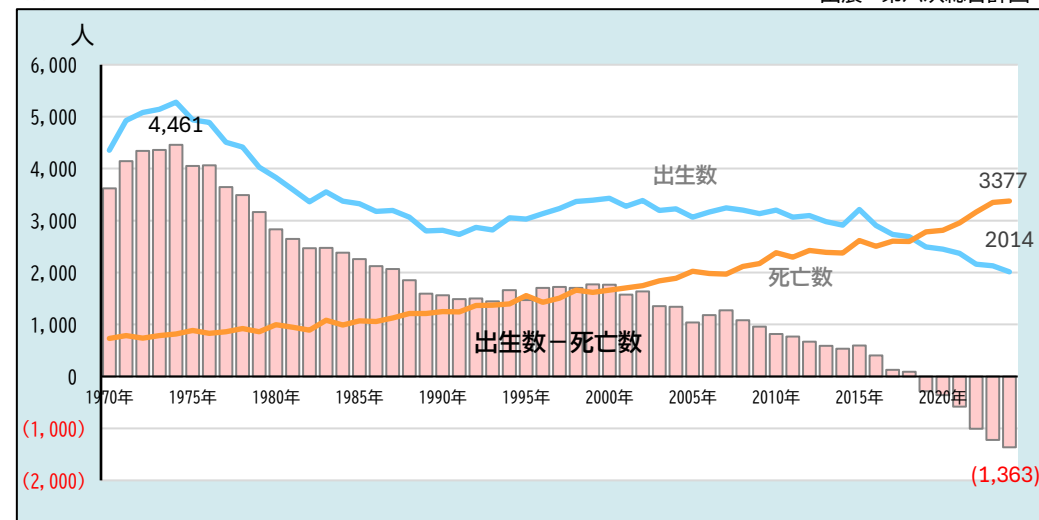
85歳以上のひとり暮らし高齢者数が増加傾向にある。また、高齢者の3分の1以上が孤独感を感じている。

## 終活

○ 本格的な多死社会が到来する

出生数・死亡数の推移

出展：第六次総合計画



出生数が死亡数を上回る自然増が続いていたが、2019年には死亡数が出生数を上回り、その差が徐々に拡大していることから、今後は多死社会を迎えることが想定される。